



航空機旅客の摘発件数、押収量共に激増

～令和5年上半期の東京税関における関税法違反事件の取締り状況～

東京税関が令和5年上半期（令和5年1月から同年6月まで）に摘発した不正薬物（※1）は、合計で221件（前年同期比51%増）/約479kg（※2）（同約2倍）となり、摘発件数、押収量共に増加し、上半期の摘発件数は過去5年間で最多となった。

内訳は、覚醒剤146件（同約2.2倍）/約431kg（同約3倍）、大麻14件（同58%減）/約1kg（同99%減）、麻薬45件（同80%増）/約46kg（同約3倍）及び237錠（同96%減）、向精神薬1件（同83%減）/9錠（同94%減）、指定薬物15件（同6%減）/約1kg（同52%減）であった。

[主な特徴]

- ◆ 航空旅客の摘発件数、押収量が共に激増
- ◆ 不正薬物の上半期摘発件数が過去5年で最多
- ◆ 覚醒剤の摘発件数、押収量が共に倍増
- ◆ 海上貨物による覚醒剤の大口事案の摘発
- ◆ 空き部屋を狙った密輸入事件が頻発

（※1）覚醒剤、大麻、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう。
資料「社会悪物品の摘発実績」参照

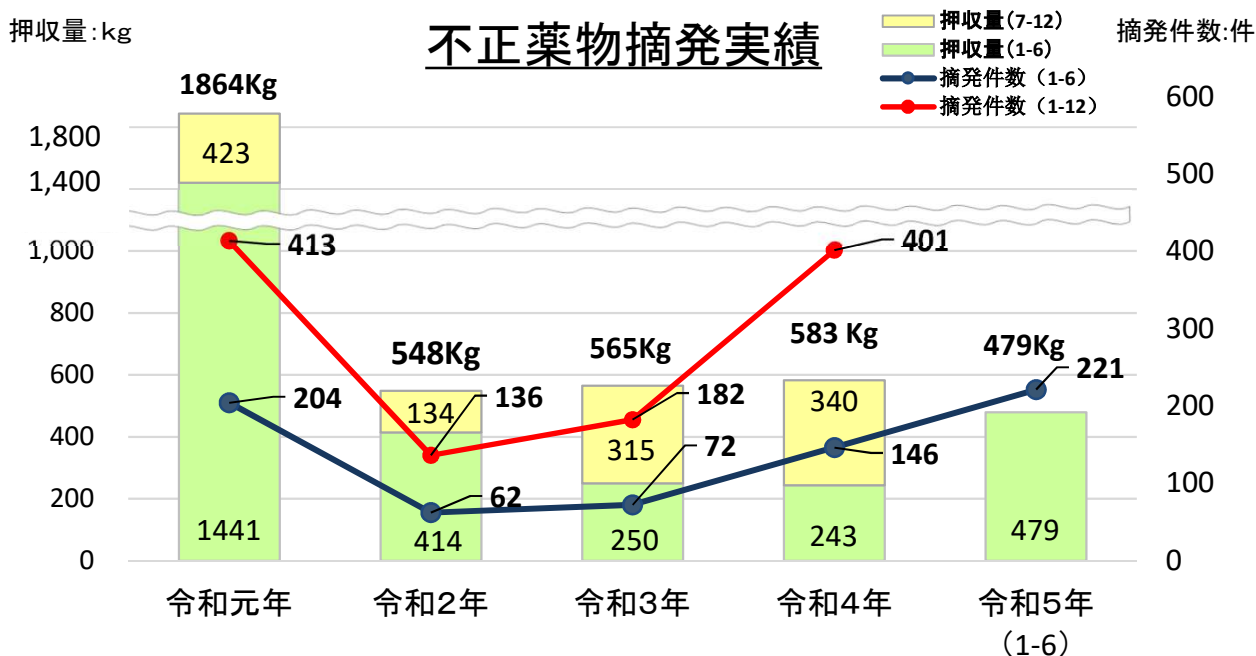
（※2）重量等未確定につき含まれないものがある。個々の押収量についても同様。

（注1）令和元年とは平成31年1月から令和元年12月までをいう、以下同じ。

（注2）令和4年、5年の数値は速報値である。

1 不正薬物摘発実績

- 摘発件数は221件（前年同期比51%増）、押収量は約479kg（※）（同約2倍）であり、共に増加した。
- 上半期での摘発件数は過去5年で最多であった。



- 航空機旅客からの摘発件数は81件（前年同期比4.5倍）、押収量は約167kg（約10倍）であり、前年同期比では共に大幅に増加した。
- 航空貨物からの摘発件数は70件（同19%増）と増加したが、押収量は約133kg（同26%減）と減少した。

形態別不正薬物摘発実績

(摘発件数/押収量)

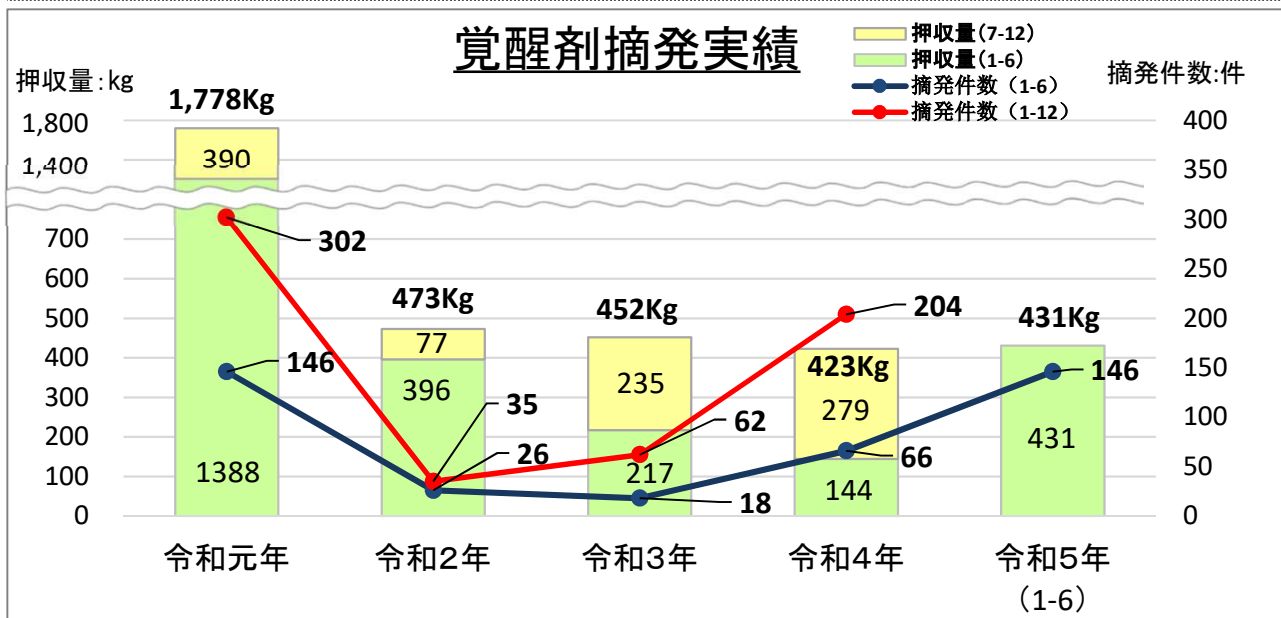
	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和4年 (1-6)		令和5年 (1-6)	
	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg
航空機旅客	239	417	33	36	20	51	72	124	18	16	81	167
商業貨物	97	328	64	487	82	442	140	332	59	179	74	262
海上貨物	2	43	2	352	3	154	-	-	-	-	4※	129※
航空貨物	95	286	62	135	79	288	140	332	59	179	70	133
国際郵便物	76	100	39	25	80	71	189	127	69	48	66	51
船舶乗組員等	1	1019	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	413	1864	136	548	182	565	401	583	146	243	221	479

(※) 海上貨物の内1件は、アラブ首長国連邦来PVCボード・覚醒剤。鑑定未了のため押収量には含まれていない。
 (注) 押収量については、端数処理のため、合計が一致しないことがある。

2 薬種別摘発実績

(1) 覚醒剤

- 摘発件数は146件（前年同期比約2.2倍）、押収量は約431kg（※）（同約3倍）であり、共に増加した。
- 押収量は上半期で令和4年通期を上回った。



① 密輸入形態

- 航空機旅客からの摘発件数47件（前年同期比約12倍）、押収量約139kg（同約10倍）であり、前年同期比では共に大幅に増加した。
- 前年実績の無かった海上貨物からの摘発が4件あり、押収量は約129kg（※）であった。

形態別覚醒剤摘発実績

（摘発件数／押収量）

	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和4年(1-6)		令和5年(1-6)	
	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg
航空機旅客	179	352	12	24	3	35	41	100	4	13	47	139
商業貨物	87	323	15	437	43	383	90	244	31	97	63	250
海上貨物	2	43	2	352	3	154	-	-	-	-	4※	129※
航空貨物	85	280	13	85	40	229	90	244	31	97	59	121
国際郵便物	35	85	8	13	16	34	73	79	31	34	36	42
船舶乗組員等	1	1019	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	302	1778	35	473	62	452	204	423	66	144	146	431

（※）海上貨物の内1件は、アラブ首長国連邦来PVCボード・覚醒剤。鑑定未了のため押収量には含まれていない。

（注）押収量については、端数処理のため、合計が一致しないことがある。

② 仕出地

- 北米仕出しが、摘発件数及び押収量とも最多であった。
- アジア仕出しから北米仕出しにシフトの傾向。
- 密輸仕出地は、31カ国と引き続き広域化傾向。

仕出地別覚醒剤摘発実績

(摘発件数、押収量／構成比)

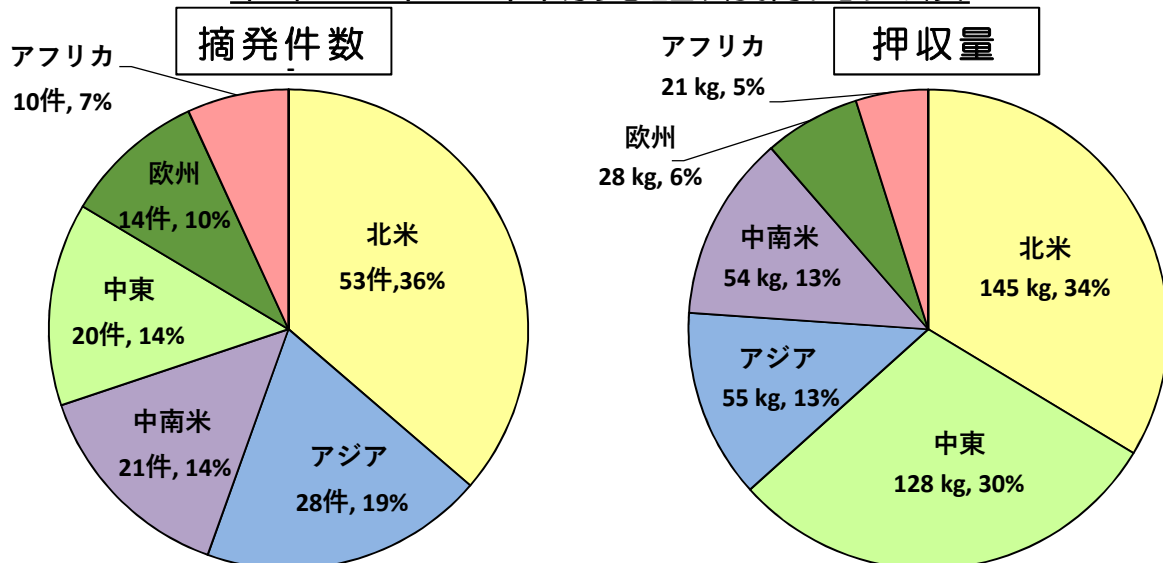
		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和4年(1-6)		令和5年(1-6)	
		件	50%	16	46%	25	40%	65	32%	30	45%	28	19%
ア ジ ア	件	150	50%	16	46%	25	40%	65	32%	30	45%	28	19%
	Kg	233	13%	133	28%	287	64%	97	23%	52	36%	55	13%
北 米	件	76	25%	5	14%	12	19%	61	30%	9	14%	53	36%
	Kg	248	14%	245	52%	68	15%	82	19%	23	16%	145	34%
中 南 米	件	21	7%	4	11%	5	8%	12	6%	3	5%	21	14%
	Kg	128	7%	48	10%	10	2%	19	4%	4	3%	54	13%
アフリカ	件	8	3%	3	9%	5	8%	27	13%	8	12%	10	7%
	Kg	20	1%	21	4%	22	5%	62	15%	18	12%	21	5%
欧 州	件	27	9%	3	9%	12	19%	20	10%	6	9%	14	10%
	Kg	40	2%	7	1%	21	5%	52	12%	16	11%	28	6%
中 東	件	19	6%	4	11%	3	5%	19	9%	10	15%	20	14%
	Kg	91	5%	20	4%	44	10%	112	26%	31	22%	128※	30%
不 明	件	1	0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Kg	1019	57%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	件	302	100%	35	100%	62	100%	204	100%	66	100%	146	100%
	Kg	1778	100%	473	100%	452	100%	423	100%	144	100%	431	100%

(※)アラブ首長国連邦来海上貨物(PVCボード・覚醒剤)は鑑定未了のため押収量に含まれていない。

(注1)数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(注2)押収量については、端数処理のため、合計が一致しないことがある。

令和5年上半期覚醒剤摘発実績



【主な摘発事例】

【アラブ首長国連邦来海上貨物】

- 海上コンテナを利用し、PVCボード内に**覚醒剤相当量**を隠匿
(令和5年3月 東京税関本関摘発)



- ・PVC(ポリ塩化ビニル)ボード1枚に4袋
- ・1袋は約1kg、PVCボードは計175枚
- ・推定重量は**約700kg**(現在鑑定中)

【主な摘発事例】

【アメリカ来航空貨物】

- パレット内に**覚醒剤約12kg**を隠匿

(令和5年3月 東京税関本関)



【アフガニスタン来国際スピード郵便物】

- カーペット、布団カバーに**覚醒剤相当量**を隠匿 ※染み込ませ

(令和5年4月 東京外郵便出張所)



【主な摘発事例】

【カナダ来国際スピード郵便物】

- バスソルトの容器内に**覚醒剤約500g**を隠匿
(令和5年2月 東京外郵出張所摘発)



【カナダ来国際スピード郵便物】

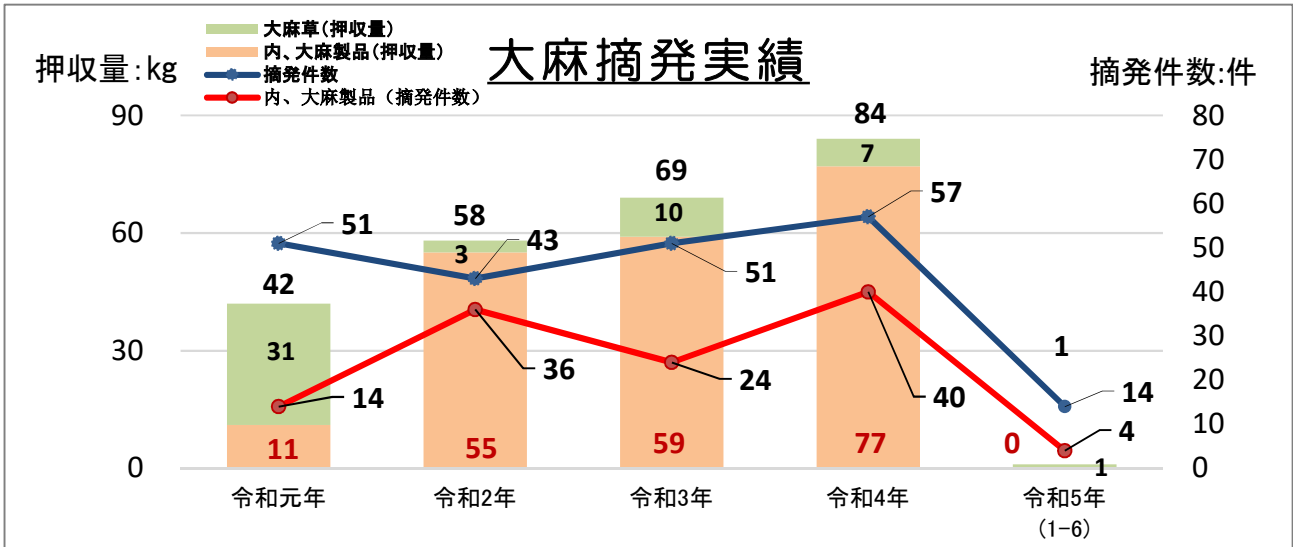
- 金属製ドアハンドル内に**覚醒剤約1.8kg**を隠匿
(令和5年2月 東京外郵出張所摘発)



(2) 大麻

- ▶ 大麻（大麻草、大麻樹脂等（大麻製品※含む））の摘発件数は14件（前年同期比58%減）、押収量は約0.8kg（同99%減）であり、共に大幅に減少した。
- ▶ 大麻製品の摘発件数は4件（同83%減）、押収量は約32g（同99%減）であり、共に大幅に減少した。

（※）大麻製品とは、液状大麻、菓子等大麻成分を含むものをいう。



① 密輸入形態

- ▶ 航空機旅客からの摘発件数は9件、押収量は約0.3kgでいずれも前年同期と同一。
- ▶ 航空貨物からの摘発件数は3件（前年同期比81%減）、押収量は約0.5kg（同99%減）であり、共に大幅に減少した。
- ▶ 国際郵便物からの摘発件数は2件（同75%減）、押収量は約5g（同99%減）であり、共に大幅に減少した。

形態別大麻摘発実績

（摘発件数／押収量）

	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和4年(1-6)		令和5年(1-6)	
	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg
航空機旅客	21	23	10	0	6	10	14	0	9	0	9	0
商業貨物	7	5	26	48	20	34	25	70	16	69	3	0
海上貨物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空貨物	7	5	26	48	20	34	25	70	16	69	3	0
国際郵便物	23	14	7	10	25	25	18	14	8	11	2	0
船舶乗組員等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	51	42	43	58	51	69	57	84	33	81	14	1

（注1）数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

（注2）押収量については、端数処理のため、合計が一致しないことがある。

② 仕出地

▶ 北米及びアジア仕出しで、摘発件数、押収量ともに大半を占めた。

仕出地別大麻摘発実績

(摘発件数、押収量／構成比)

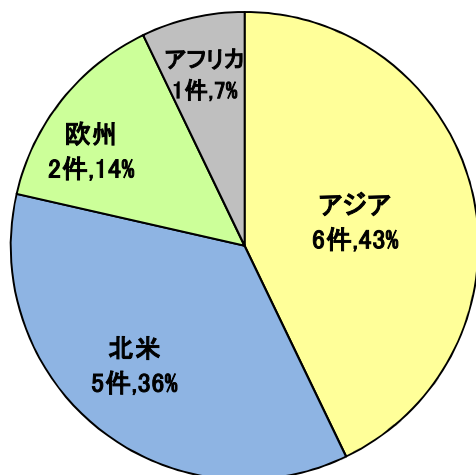
		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和4年(1-6)		令和5年(1-6)	
		件	%	件	%	件	%	件	%	件	%	件	%
ア ジ ア	件	2	4%	1	2%	5	10%	18	32%	5	15%	6	43%
	Kg	9	21%	3	5%	4	6%	11	12%	7	9%	0	39%
北 米	件	42	82%	42	98%	39	76%	32	56%	22	67%	5	36%
	Kg	33	78%	55	95%	62	90%	73	87%	73	91%	0	61%
中 南 米	件	-	-	-	-	-	-	1	2%	1	3%	-	-
	Kg	-	-	-	-	-	-	0	0%	0	0%	-	-
アフリカ	件	-	-	-	-	2	4%	-	-	-	-	1	7%
	Kg	-	-	-	-	2	3%	-	-	-	-	0	0%
欧 州	件	7	14%	-	-	4	8%	2	4%	2	6%	2	14%
	Kg	0	0%	-	-	1	1%	0	0%	0	1%	0	1%
中 東	件	-	-	-	-	-	-	1	2%	1	3%	-	-
	Kg	-	-	-	-	-	-	0	0%	0	0%	-	-
不 明	件	-	-	-	-	1	2%	3	5%	2	6%	-	-
	Kg	-	-	-	-	0	0%	0	0%	0	0%	-	-
合計	件	51	100%	43	100%	51	100%	57	100%	33	100%	14	100%
	Kg	42	100%	58	100%	69	100%	84	100%	81	100%	1	100%

(注1) 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

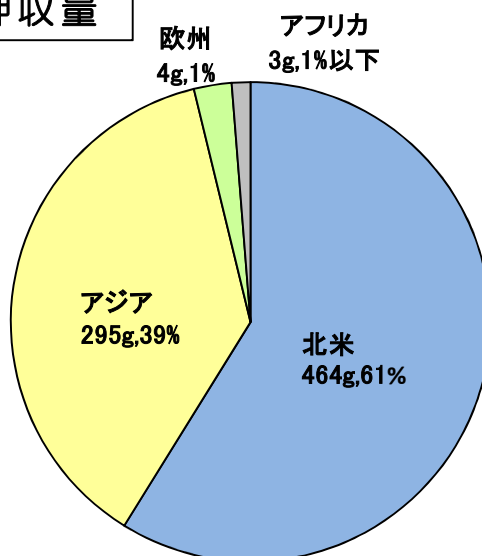
(注2) 押収量については、端数処理のため、合計が一致しないことがある。

令和5年上半期大麻摘発実績

摘発件数



押収量



【主な摘発事例】

【米国来航空貨物】

- 個別包装された**乾燥大麻約24g**を隠匿

(令和5年2月 東京税関本関摘発)



【ベトナム来航空旅客】

- プラスチック製食品ケース内に**乾燥大麻約290g**を隠匿

(令和5年2月 羽田税関支署摘発)



(3) 麻薬

- MDMAの摘発件数は11件（前年同期比83%増）、押収量は約15kg（同6.2倍）であり、共に増加した。
- コカインの摘発件数は26件（同5.2倍）、押収量は約29kg（同7.6倍）であり、共に増加した。
- ケタミンの摘発件数は6件（同57%減）、押収量約3kg（同67%減）であり、共に減少した。

【主な摘発事例】

【アメリカ来航空旅客】

- スーツケース二重底に**MDMA約3.6kg**を隠匿
(令和5年2月 羽田税関支署摘発)



【ドイツ来航空旅客】

- 繭玉状に形成された**コカイン約1.1kg**を嚥下隠匿
(令和5年6月 羽田税関支署摘発)



(4) 知的財産権侵害物品

- 知的財産権侵害物品の摘発件数は12件であり、仕出地はすべて中国で、衣類、靴、バッグ等であった。
- 昨年11月に摘発した商標権を侵害するエアバック密輸出事件（アメリカ合衆国向け航空貨物）について、本年2月に告発した。

【アメリカ合衆国向け航空貨物】

- 商標権を侵害するエアバック12個を摘発
(令和5年2月 パキスタン・イスラム共和国籍の男性4名告発)



【中国来国際郵便物】

- 商標権を侵害する衣類を摘発
(令和5年3月 東京外郵出張所摘発)



3 密輸の特徴

空き部屋を悪用した密輸入が頻発

- 賃貸物件の空き部屋を宛先とし、住人になりすまし受け取ろうとする事案が頻発。
- 染み込ませ、パレット内隠匿等の巧妙な隠匿手口が散見。

【台湾来航空貨物】覚醒剤相当量 シーツカバーに染み込ませ
(令和5年3月 東京税関本関)



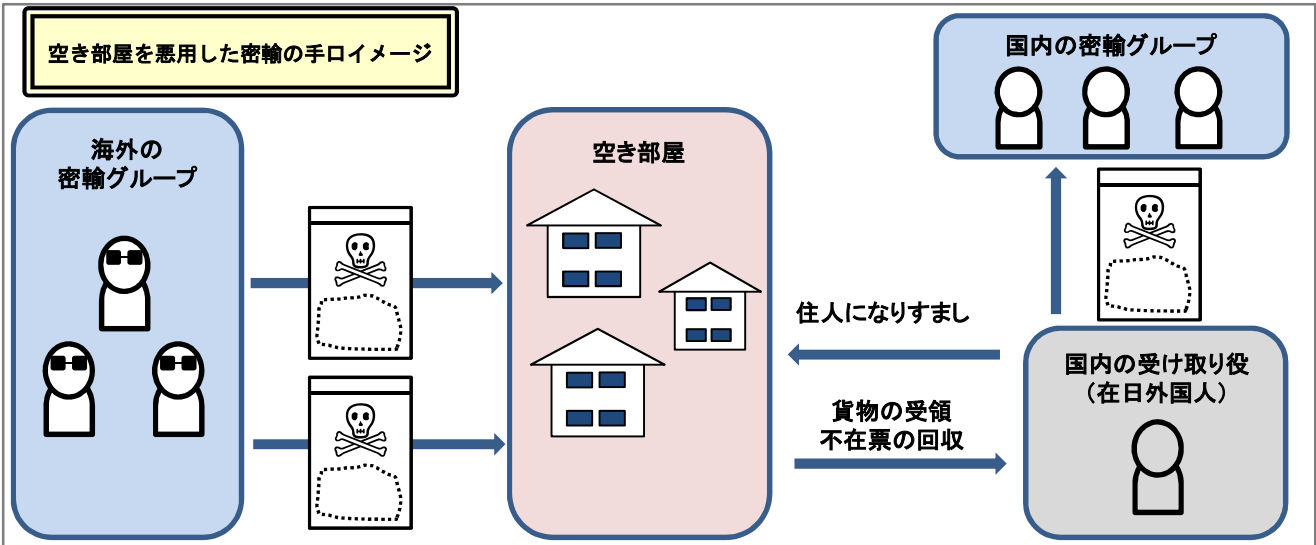
【米国来航空貨物】覚醒剤約1.2kg 木製パレット内に隠匿
(令和5年4月 東京税関本関)



【7ヶ国来航空貨物】覚醒剤 約3kg
自動車用シフト様のものに隠匿 (令和5年4月 東京税関本関)

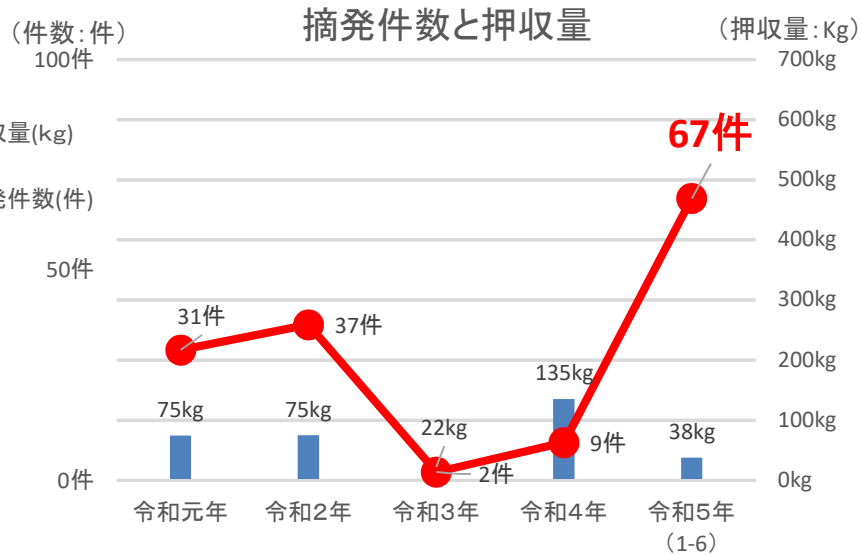


空き部屋を悪用した密輸の手口イメージ



金地金の摘発が急増

- 摘発件数は、上半期で67件であり、過去5年間では年間摘発件数と比べても最多。
- 67件の内訳は、航空機旅客が66件、国際郵便が1件。



【航空機旅客】令和5年6月 羽田税関支署摘発

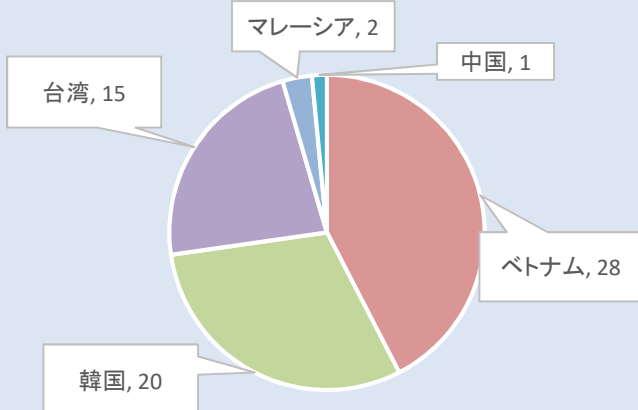


【ベトナム来国際スピード郵便物】令和5年4月 東京外郵便出張所

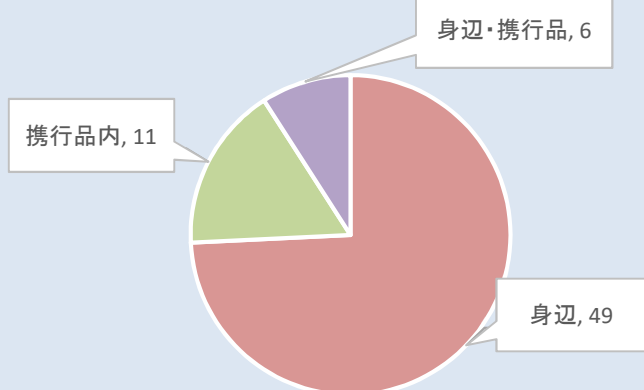
航空機旅客による密輸入は、小口化傾向

- ・仕出地は全てアジア、隠匿方法は身辺隠匿(ネックレスやブレスレットに加工して着用)が最多。
- ・摘発件数は66件(総重量約37,000g)、摘発1件あたりの重量は約560g

仕出地: 件数



隠匿方法: 件数



社会悪物品の摘発実績

種類	年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	(1-6)	令和5年 (1-6)	前年同期比
覚醒剤	件	302	35	62	204	66	146	221%
	kg	1,778	473	452	423	144	431	299%
大麻	件	51	43	51	57	33	14	42%
	kg	42	58	69	84	81	1	1%
大麻草	件	37	7	27	17	10	10	100%
	kg	31	3	10	7	6	1	12%
大麻樹脂等	件	14	36	24	40	23	4	17%
	kg	11	55	59	77	75	0	0%
あへん	件	-	-	1	-	-	-	-
	kg	-	-	4	-	-	-	-
麻薬	件	44	31	44	98	25	45	180%
	kg	36	15	38	72	15	46	305%
	千錠	40	37	21	8	5	0	4%
ヘロイン	件	1	-	-	-	-	-	-
	kg	2	-	-	-	-	-	-
コカイン	件	24	11	14	17	5	26	520%
	kg	34	15	9	21	4	29	764%
MDMA等	件	8	15	14	39	6	11	183%
	kg	0	0	17	30	2	15	621%
	千錠	40	37	21	8	5	0	4%
ケタミン	件	9	5	13	39	14	6	43%
	kg	0	0	12	21	9	3	33%
その他麻薬	件	2	-	3	3	-	2	全増
	kg	0	-	0	0	-	0	全増
	千錠	-	-	0	-	-	-	-
向精神薬	件	-	-	1	6	6	1	17%
	kg	-	-	0	0	0	-	全減
	千錠	-	-	-	0	0	0	6%
指定薬物	件	16	27	23	36	16	15	94%
	kg	8	1	2	4	2	1	48%
合計	件	413	136	182	401	146	221	151%
	kg	1,864	548	565	583	243	479	198%
	千錠	40	37	21	8	6	0	0%
銃砲	件	-	-	-	1	-	-	-
	丁	-	-	-	1	-	-	-
うち拳銃	件	-	-	-	1	-	-	-
	丁	-	-	-	1	-	-	-
拳銃部品	件	-	-	-	-	-	-	-
	点	-	-	-	-	-	-	-

- (注) 1. 税関が摘発した密輸入事犯の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。
2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚せい剤原料の合計を示す。
3. 大麻樹脂等は大麻樹脂のほか、液状大麻・大麻菓子等の大麻製品の合計を示す。
4. MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計を示す。
5. 端数処理のため数値が合わないことがある。
6. 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
7. 令和4年、令和5年の数値は速報値である。